

Goro SUZUKI

Ichiro AKIYAMA

Kagari ISE

Hidetoshi UESHIMA

Hisaki OHARA

Kit_A

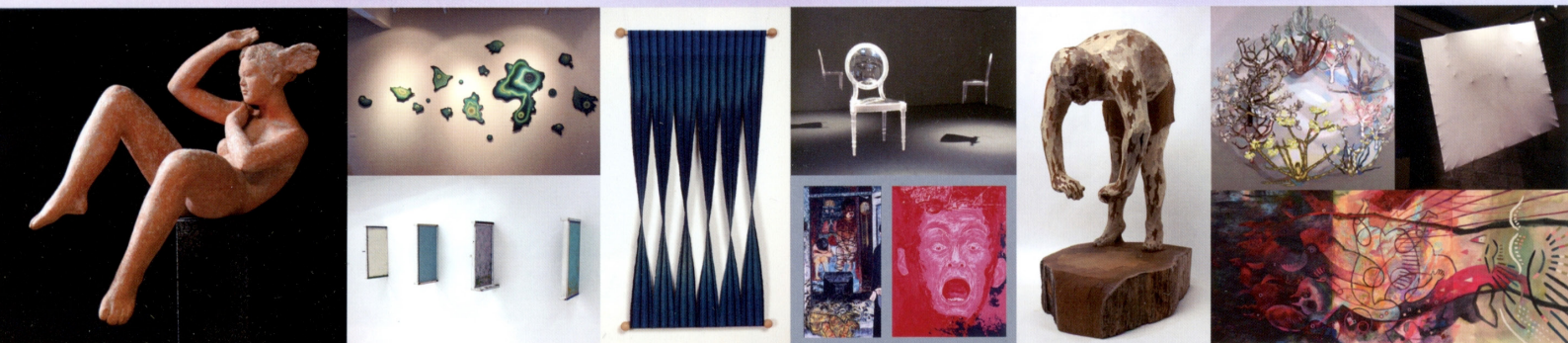
Hinako SUZUKI

Saeko HIRANO

Yumiko FUJIEDA

Migaku OKUI

toki wo tsumuide

“鈴木吾郎という大樹に育まれた
豊穣な果実たち”

鈴木吾郎と新鋭作家展

～時を紡いで～

出品作家 鈴木吾郎・秋山一郎・伊勢かがり・上嶋秀俊・大原央聡・Kit_A・鈴木比奈子・平埜佐絵子・藤枝由美子・奥井 理(故人)

2019年5月18日(土)～7月15日(月・祝)

開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで) 観覧料／【一般】600(480)円 【市内高齢者・高校生】300(240)円

休館日：月曜日(ただし7月15日を除く) 【中学生以下】無料 ()内は20名以上の団体料金

主催・後援団体
主催：市立小樽美術館 共催：北海道新聞小樽支社
後援：北海道教育庁後志教育局、市立小樽美術館協力会 協力：潮陵倶楽部



市立小樽美術館
otaru city museum of art

〒047-0031小樽市色内1丁目9番5号
TEL 0134-34-0035 FAX 0134-32-2388

toki wo tsumuide

～時を紡いで～ 鈴木吾郎と新鋭作家展

“鈴木吾郎という大樹に育まれた豊穣な果実たち”



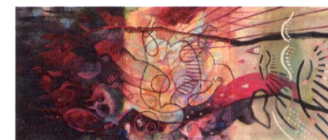
鈴木吾郎 (1939～)

＜見つけて＞ テラコッタ 2017年
私は人間の根源的な哀しみを、テラコッタで詩情・叙情そして精神性を表現しようとして来た。



平埜佐絵子 (1975～)

＜years＞ 油彩 2017年
自分が植えた植物を観察しては描く。光を求め背を伸ばし、花を咲かせ種を作り、役目を終えると美しく枯れていく。生と死が巡ることの尊さと美しさ。



大原央聡 (1966～)

＜体を曲げる人＞ 2016年
素材と対峙するなかで、チーク材の堅さや粘り、濃い色、素材感、彫れていく感じなどがしっくりきて、自分なりのフォルムが得られた。

鈴木比奈子 (1972～)

＜夜鳴く鳥＞ 2017年
良いも悪いもありません
幸も不幸も ありません
好きも嫌いもありません みんな同じ



秋山一郎 (1968～)

＜棚＞2015年
廃棄予定だった棚板にペイント。
作品は両面に色があり左右からの見え方が違う。

■秋山一郎パフォーマンス

●「歌とパイプオルガン演奏」
出演：秋山羊子(シンガーソングライター)
5月19日(日)12:00～12:30 2階企画展示室
●「展示スプーンを使った実食」
提供：cafe chobicha 事前予約・限定30名様
5月19日(日)13:00～14:00 2階企画展示室

関連事業

アーティストトーク 鈴木吾郎先生との思い出／自作を語る

●鈴木吾郎・秋山一郎・大原央聡・平埜佐絵子・藤枝由美子

日時：5月18日(土) 10:00～11:00

会場：市立小樽美術館2階企画展示室

展覧会観覧券で
ご参加いただけます

●鈴木吾郎・伊勢かがり・上嶋秀俊・Kit_A・鈴木比奈子

※奥井理作品は鈴木吾郎が解説いたします。

日時：6月22日(土) 14:00～15:00

会場：市立小樽美術館2階企画展示室

展覧会観覧券で
ご参加いただけます

ジャズライブ 野瀬栄進ピアノソロ

日時：5月25日(土) 14:00～15:00

会場：市立小樽美術館2階企画展示室

展覧会観覧券で
ご参加いただけます

関連催事 野瀬栄進写真展＋コンサート

日時：5月29日(水)～6月3日(月) 10:00～17:00

会場：茶廊法邑(札幌市東区本町1条1丁目8-27) 写真展入場無料
コンサート 6月2日(日)18:30開演 2500円

鈴木吾郎は、北海道内に58基もの野外彫刻を設置する彫刻家であり、また美術教師として北海道小樽潮陵高等学校、北海道札幌西高等学校などで多くの生徒を指導した教育者です。

このたび、ある時期に鈴木吾郎と時をともにして美術を学び、現在もお己と対峙し制作を続ける美術家たちに注目した特別展を開催いたします。

本展は、鈴木吾郎の長年にわたる美術教育を振り返り、美術家として自立していったアーティストたちを鈴木吾郎の作品とともに展覧するもので、それは同時に小樽潮陵高校美術部「白潮会」に所属した生徒たちの現在の姿を俯瞰するグループ展となります。(一部、在校中の旧作も展示致します)。

上嶋秀俊 (1966～)

＜水の音＞ アクリル・シナベニヤ・小石
2018年
命の循環を繰り返す水の営みを想像し、色と形を与え可視化しようと創作に向かっている。

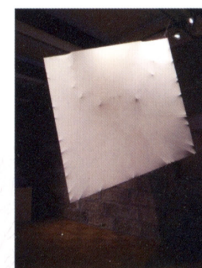
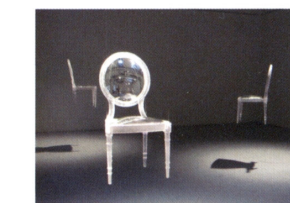


奥井 理(故人) (1976～95)

＜叫び＞ 1993年(高校3年)
見えない自分を描こうとすれば、傷つくことのほうが多い。忘れたいことのほうが多い。自画像とは、自分が見て、やってきたことを振り返ることだろう。

伊勢かがり (1964～)

＜海風＞ 2016年
小樽の景色から感じたイメージを自分らしい色に染め、織り上げる。海・風・秋の実りをテーマに、懐かしい風景や優しい思いを伝えたい。



Kit_A (1966～)

＜Comicative＞ 2016年
漫画のページにあるコマをそれぞれの形のキャンバスにし、空間に再構成。Comicativeと名づけシリーズ化している。

藤枝由美子 (1968～)

＜mother＞ ミクストメディア 2012年
観る私は観られる世界と同時に生じています。ならばこの世界を産んだ母は誰なのでしょう。



市立小樽美術館
otaru city museum of art

〒047-0031小樽市色内1丁目9番5号
TEL 0134-34-0035 FAX 0134-32-2388

●アクセス小樽駅より徒歩10分

